

道志山塊（中央線沿線）：九鬼山

- ◆日程 2020年10月24日（土）
- ◆メンバー L：AZ, SK, HN, ST, SH, OT
- ◆天候 晴時々曇

ハイキングユニットは今年度の活動の舞台を中央線沿線に定め、何度も計画をしてきた。しかし悪天候等による中止が続いたため今回が初の実施となった。このエリアの利点は交通の便が良く、しかも駅から直接アプローチができるため、西丹沢に行くのと大差ない所要時間で登山口に立てることだ。秀麗富岳十二景という、富士山の眺めが良い手頃な山々が連なることも魅力だ。今回の九鬼山は1000mに満たない割に、複数の肩書を持つ（山梨百名山、秀麗富岳十二景、都留市二十一秀峰など）。近くにある百蔵山（これも秀麗富岳十二景）で生まれた桃太郎が鬼退治にやってきたという伝説もあるらしい。ついでに山の名前に標高970mの九を含む。

スタート地点は中央線大月駅から富士急行に乗り換えてすぐの禾生（かせい）という読み難い名前の駅。天気良く暖かいが、登山道に入ると風も通りヒンヤリとして気持ちよい。紅葉は始まったばかりだ。地図上はジグザグの急登に見えるが案外ゆるやかだ。久しぶりに会えた仲間との会話を弾ませながら標高を上げていく。10分位の間隔で轟音が聞こえる。九鬼山の山頂直下を貫くりニアモーターカー実験線からの走行音だ。ほとんど他のハイカーに会わない静かな山なので、妙な気分だ。九鬼山山頂からは大菩薩嶺方面の山々がパノラマで拝めた。肝心の富士山はといえば、駅からは見えたが、雲に隠れて山頂手前の富士見台からも見えなかった。ここからは急下降やガレ場のトラバースルートを含む縦走路。のんびりと歩けるが、変化に富み、飽きさせない。馬立山で昼食をとり、歩を進める。御前山の頂は切れ落ちた岩場で、西丹沢方面の山々を一望出来た。猿橋駅まで10キロ足らずの行程で4つの山頂を結ぶ縦走をのんびりと堪能できた。

今後も毎月第四週の土曜か日曜に中央線沿線での日帰りハイクを実施予定だ。空気が澄んできて富士山の展望も期待できそうなので、多くの方に楽しんで頂ければと思う。（記：OT）

CT：禾生駅 9:10 - 弥生峠 10:30 - 九鬼山 11:00/11:20 - 馬立山 13:00/13:30 - 御前山 14:05/14:20 - 猿橋駅 15:35

